

## 事業成果報告書

### [取組 I] 都道府県教育委員会による小中一貫教育推進に関する取組

1. 都道府県教育委員会名 : 鹿児島県教育委員会
2. 取組の名称 : 平成28年度「小中一貫教育推進事業」

#### 3. 事業の実績

##### (1) 事業のねらい

校種間の移行を円滑にするための具体的な方策等に関する実践的研究をモデル地域（6市町）において進めるとともに、その成果普及により、本県における学校段階間の連携や小中一貫教育の一層の推進を図る。また、県総合教育センターや県教育委員会教職員課及び大学等との連携により教員研修のモデルプログラムを開発するとともに、教員採用・人事交流等の在り方の改善を図る。事業推進に当たっては、県内外の有識者等をメンバーに加えた「県小中一貫教育推進協議会」を組織し、客観的な評価も取り入れながら計画の具体化を図っていく。

##### (2) 事業の実施状況

- モデル地域、モデル校の委託を行った。
- 県小中一貫教育推進協議会委員の選任並びに協議会を設置し、開催した。
- 県小中一貫教育推進協議会や県小中一貫教育フォーラムを開催した。
- 県外の先進地（神奈川県、茨城県）を視察し、学校の取組について研修を行った。
- 全国小中一貫教育フォーラムに参加し、先進的な取組を参考にした。
- 県小中一貫教育連絡協議会との連携を図り、次年度からの連携について協議した。

##### (3) 事業の成果

- モデル地域6市町と大学（有識者）、関係教育事務所、県総合教育センター、県教育委員会との間で鹿児島県小中一貫教育推進協議会を開催し、進捗状況の確認や次年度の取組などについて協議することができた。
- 県小中一貫教育フォーラムを開催し、小中一貫教育の具体的な実践例や進め方について情報発信ができた。
- 市町村における小中一貫教育の推進に当たり、意見交換や指導を行うことができた。

##### (4) 今後の取組予定

- 2年間のモデル地域の実践的な取組をもとに有識者からの指導助言を受けながら、本県の実態に応じた小中一貫モデルを作成する。
- 鹿児島県としての小中連携、小中一貫教育について、モデル地域の研究・実践をまとめ、県内に発信し、取組を推進する。
- 他府県の先進的な取組を参考に、小中一貫教育に関するガイドラインを作成する。

#### 4. 取組 I の実績

##### (1) 取組のねらい

本県における小中一貫教育推進体制を構築し、モデル地域における取組を支援する。また、小中一貫教育に取り組んでいる小中一貫教育鹿児島県連絡協議会との連携を図りながら、取組の成果と課題を共有し、地域の特性に応じた小中一貫教育の在り方を検討する。モデル地域の取組については、随時、県下の市町村に情報提供し、取組の拡大を図る。

##### 2) 取組 I の実施状況 (平成28年度)

6月	・国との事業契約 (6 / 14) ・協力市町との事業契約 (5市町6 / 17, 南さつま市7 / 4)
7月	・「県小中一貫教育フォーラム」準備
8月	・平成28年度「県小中一貫教育フォーラム」を小中一貫教育鹿児島県連絡協議会と共催で実施 (8 / 23)
9月	・「第1回鹿児島県小中一貫教育推進協議会」準備
10月	・「第1回鹿児島県小中一貫教育推進協議会」開催 (事業内容及び事業計画, 進捗状況の確認) ・「全国小中一貫教育全国サミット」参加 (東京都武蔵村山市10 / 21・22)
11月	・研究モデル地域取組状況視察 (いちき串木野市: 生冠中学校区研究公開(11 / 25))
12月	・モデル地域取組状況視察計画
1月	・モデル地域取組状況視察 (南種子町) (1 / 26)
2月	・モデル地域取組状況視察 (奄美市 2 / 1) ・「第2回鹿児島県小中一貫教育推進協議会」開催 (今年度の事業の報告及び次年度への計画について) (2 / 6) ・先進地研修視察 (2 / 13日神奈川県, 2 / 14茨城県) ・事業まとめ
3月	・事業まとめ

##### (3) 取組の成果

・モデル地域における取組について、教育課程作成の支援ができた。  
・県小中一貫教育フォーラムを開催し、県内におけるモデル地域の取組状況や先進地の状況について情報提供したことで、モデル地域以外の市町村においても小中一貫教育に取り組もうとする動きが見られるようになった。  
・今年度は、昨年度よりも開始年度が早かったため、具体的な実践が充実してきている。

(4) 今後の取組予定

○モデル地域での実践的な取組を通して、指導方法改善の具体的な取組を収集し、本県の実態に応じた小中一貫モデルを作成し、県下の市町村に還元する。  
○小中一貫教育鹿児島県連絡協議会と連携を図り、モデル地域での実践とともに取組の成果と課題を共有し、県下にその情報を提供することを通して、小中一貫教育の取組を推進する。  
○他府県の先進的な取組を参考に、小中一貫教育に関するガイドラインを作成する。

5. [取組Ⅱ] を実施した協力市町村教育委員会等

通し番号	教育委員会等の名称	
Ⅱ-1	いちき串木野市教育委員会	
Ⅱ-2	南さつま市教育委員会	
Ⅱ-3	鹿屋市教育委員会	
Ⅱ-4	東串良町教育委員会	
Ⅱ-5	南種子町教育委員会	
Ⅱ-6	奄美市教育委員会	

## 事業成果報告書

### [取組Ⅱ] 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号	Ⅱ－１
------	-----

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : いちき串木野市教育委員会

住所	: いちき串木野市湊町1丁目1番地
代表者職・氏名	: 教育長 有村 孝

2. 取組の名称 : いちき串木野市小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

本市の小中学校における学力の向上及びいじめ・不登校0をめざし、その一つの手段として小中一貫教育を行う。
---

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成28年度）

4月	
5月	
6月	
7月	・市教頭研修会での協議・・1学期の成果と課題，夏季休業中における中学校区ごとの協議
8月	・県小中一貫教育フォーラム参加 ・第1回市小中一貫教育研修会（モデル校校長，代表教諭）・・1学期の取組の成果と課題，2学期以降の実施計画の協議
9月	・市校長研修会，教頭研修会での協議・・各中学校区の進捗状況，公開研究会
10月	・市校長研修会での協議・・2学期乗り入れ授業 ・第2回市小中一貫教育推進協議会（モデル校校長・PTA会長）・・2学期の推進状況，地域との連携 ・市教務主任等研修会における協議・・3年次に向けた教育課程編成 ・小中一貫教育推進協議会・小中連携協議会（各中学校区～11月）・・各中学校区ごとの授業参観・研究協議 ・小中一貫教育全国サミットin武蔵村山参加
11月	・市教頭研修会での協議・・乗り入れ授業の成果と課題 ・先進地視察（広島県呉市，府中市） ・公開研究会（生福小） ・アンケート実施（小6・中1の児童生徒及び保護者・教職員）

12月	・第2回市小中一貫教育研修会（モデル校校長，代表教諭）・・・生福小学校公開研究会の成果と課題
1月	・市校長研修会での協議・・・3年次計画作成 ・小中一貫教育推進協議会・小中連携協議会（各中学校区～2月）・・・授業参観・研究協議 ・小中一貫教育公開研究会（羽島小） ・実践報告書作成
2月	・市教頭研修会での協議・・・3年次計画作成 ・第3回市小中一貫教育推進協議会（モデル校校長，PTA会長）・・・3年次計画作成
3月	

(3) 取組の成果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乗り入れ授業による連携強化（モデル校中学校区英語・外国語活動20回，他中学校区2回以上）</li> <li>・ 小中一貫教育推進事業実践報告書作成</li> <li>・ 英語学力調査県平均以上（鹿児島学習定着度調査 英語 中1 県平均+8.9，中2 県平均+1.8）</li> </ul>
---

(4) 今後の取組予定

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先進校，先進地域の研修視察</li> <li>・ 小中学校間の相互乗り入れ授業の実施（小学校外国語活動・英語を中心に）</li> <li>・ 小中連携協議会を生かした合同研修（学習の手引・生活の手引の作成）</li> <li>・ 小中合同行事の実施</li> <li>・ モデル校実践の他校への波及（公開研究会の実施）</li> <li>・ 児童生徒・教職員アンケートの実施（時間外）</li> <li>・ 小中一貫教育・小中連携協議会活動事例報告書の作成（時間外）</li> <li>・ 学力調査と相互乗り入れ授業との相関関係分析（時間外）</li> <li>・ 羽島中学校区の一体型小中一貫教育導入に向けた研究</li> </ul>
---

## 事業成果報告書

### [取組Ⅱ] 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号	Ⅱ-2
------	-----

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 南さつま市教育委員会

住所	〒897-0003 南さつま市加世田川畑2627-1
代表者職・氏名	教育長・出口 定昭

2. 取組の名称 : 南さつま市小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

<ul style="list-style-type: none"> <li>○南さつま市小中一貫推進計画（金峰地区）をもとにした、教育課程（学習のしおり・学校行事等）の統一や乗り入れ授業（田布施小・阿多小の5・6年生を学期1回程度、金峰中において、技能教科を中心に乗り入れ授業を行う）・教職員の合同研修会等の実施</li> <li>○道徳科における実践的研究</li> <li>○小学校英語科に向けた基礎的研究</li> <li>○地区学校運営協議会の充実と各学校の支援体制の推進</li> </ul>
--

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成28年度）

4月	
5月	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1回南さつま市小中一貫教育検討委員会（進取の風pj-2016 平成28年度の推進計画について）</li> <li>○第1回金峰地区学校運営協議会（各学校の年間計画・小中一貫教育への支援について）</li> <li>○授業参観及び授業研究（阿多小の算数科の研究授業に田布施小職員が参加）</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○6年生による中学校の授業参観（田布施小・阿多小6年生が金峰中学を参観）</li> <li>○授業参観及び授業研究（金峰中の授業（保健）を田布施小職員が参観）</li> <li>○第1回金峰地区小中一貫教育管理職委員会（金峰地区夏季合同教職員研修会について）</li> <li>○第1回金峰地区小中一貫教育企画委員会（金峰地区夏季合同教職員研修会について）</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○金峰地区夏季合同教職員研修会（講話（宮崎県日向市立平岩小中学校校長）教科領域等部会・各部会等）</li> <li>○鹿児島県小中一貫教育フォーラム参加（薩摩川内市）</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2回金峰地区小中一貫教育管理職委員会（中間報告について）</li> <li>○第2回南さつま市小中一貫教育検討委員会（進取の風pj-2016 中間報告発表会）</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第3回南さつま市小中一貫教育検討委員会（進取の風pj-2016 まとめについて）</li> <li>○県小中一貫教育推進協議会参加（中間報告）</li> <li>○全国小中一貫教育サミット参加（武蔵村山市）</li> <li>○乗り入れ授業（田布施小・阿多小に中学校の体育教師が乗り入れ）</li> <li>○第3回金峰地区小中一貫教育管理職委員会（今後の方向性について）</li> <li>○第2回金峰地区小中一貫教育企画委員会（今後の方向性・乗り入れ授業について）</li> </ul>

11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第4回金峰地区小中一貫教育管理職委員会（まとめ報告及び教育課程編成について）</li> <li>○第3回金峰地区小中一貫教育企画委員会（教育課程編成について）</li> <li>○乗り入れ授業実施（中学校に両小学校の6年生が集まり，美術の授業を受ける）</li> <li>○第4回南さつま市小中一貫教育検討委員会（進取の風pj-2016 まとめ発表会）</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2回地区学校運営協議会（各学校の活動状況・小中一貫教育への支援について）</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第5回金峰地区小中一貫教育管理職委員会（教育課程編成について）</li> <li>○第4回金峰地区小中一貫教育企画委員会（教育課程編成について）</li> <li>○第2回金峰地区学校運営協議会（各学校の取組・来年度の小中一貫教育等への支援の在り方）</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第6回金峰地区小中一貫教育管理職委員会（教育課程編成・来年度の方向性について）</li> <li>○第5回金峰地区小中一貫教育企画委員会（教育課程編成・来年度の方向性について）</li> <li>○第5回南さつま市小中一貫教育検討委員会（進取の風pj-2016 来年度の推進計画について）</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○南さつま市小中一貫教育研究のまとめ報告書提出（市校長研修会）</li> </ul>

(3) 取組の成果

<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育課程（学習のしおり・学校行事等）の統一ができた。</li> <li>○乗り入れ授業（小学生が中学校へ・中学教員が小学校へ）や小学校同士の合同授業，教職員の合同研修会等の実施ができた。</li> <li>○市の道徳科に向けた実践的研究をもとにした，道徳の授業の実施ができた。</li> <li>○市の小学校英語科に向けた基礎的研究をもとにした，外国語活動の授業の実施ができた。</li> <li>○地区学校運営協議会の充実と学校への支援体制づくりを行った。</li> </ul>
--

(4) 今後の取組予定

<ul style="list-style-type: none"> <li>○年6回の乗り入れ授業や年4回の教職員合同研修会等の実施を行う。</li> <li>○教育課程（9年間を通した子ども像や一部の教科領域等）の統一を図る。</li> <li>○市の道徳科に向けた実践的研究をもとにした，9年間を通した道徳科の研究を行う。</li> <li>○市の小学校英語科に向けた実践的研究をもとにした，外国語活動と中学校英語科の接続の研究を行う。</li> <li>○地区学校運営協議会の充実と学校への支援体制の充実を図る。</li> </ul>
---

## 事業成果報告書

### [取組Ⅱ] 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ-3

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 鹿屋市教育委員会

住所 : 〒893-8501  
鹿児島県鹿屋市共栄町20-1  
代表者職・氏名 : 教育長 中野 健作

2. 取組の名称 : 鹿屋市小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

各学校の課題解決を図るための有効な方法としての小中一貫教育の在り方を、モデル校での実践的研究を通して明らかにするとともに、その成果の普及により、学校段階間の連携や小中一貫教育の一層の推進を図る。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成28年度）

4月	小中一貫教育の成果・課題の把握のための統一した学力・学習状況等の調査（市内全小中学校でNRT学力検査を実施） 小中一貫した学習指導・学業指導・生活指導等の共通実践事項の実施（指定校） 上小原小中学校小中一貫教育連絡協議会の毎月開催
5月	第1回鹿屋市小中一貫教育推進委員会 ・小中一貫教育ステップ5の確認 ・9か年を見据えた教育課程・年間指導計画・教科系統表の検討・作成 ・地域の教育力や特性を活かした教育計画の見直し ・学びの連続性を重視した計画的・体系的な授業や異学年交流活動の企画と実施 ・啓発リーフレットの作成・配布 合同学校行事や相互乗り入れ授業等の計画的実施
6月	
7月	
8月	第3回小中一貫教育フォーラムへの参加（薩摩川内市）
9月	
10月	第1回鹿児島県小中一貫教育推進協議会



11月	先進地研修視察①（三鷹市、武蔵村山市、文部科学省）への派遣 ・小中一貫教育の質の向上のための効果的な教職員研修
12月	
1月	第2回鹿屋市小中一貫教育拡大推進委員会（教育講演会の実施） ・「小中一貫教育のあり方と教育の方向性」 ・先進地研修視察報告・還元 先進地研修視察②（福岡県春日市）への派遣 ・小中一貫教育とコミュニティ・スクールのあり方についての教職員研修
2月	第2回鹿児島県小中一貫教育推進協議会 小中一貫教育の成果・課題の把握のための児童生徒・教職員・保護者等へのアンケートの実施 本年度のまとめと来年度の方向性 鹿屋市小中一貫教育の進め方について（来年度リーフレット・ガイドブック案の作成）
3月	

### （3）取組の成果

- 1 先進地研修視察にモデル校から3名を派遣し、三鷹市、武蔵村山市における取組状況等について研修を行った。また、文部科学省を訪問することで小中一貫教育の今後の動向等について具体的に研修することができたことで教員の意識の高揚が図れた。
- 2 小中一貫教育連絡協議会を毎月開催することで、合同学校行事や相互乗り入れ授業等が計画的に実施できた。
- 3 鹿屋市小中一貫教育拡大推進委員会の中で、講演会を実施することで、教職員の小中一貫教育についての認識が深まるとともに、実践への意欲付けにもつながった。
- 4 小中一貫教育とコミュニティ・スクールの取組が両輪であるにとらえ、福岡県春日市へ4名を先進地研修視察に派遣した。モデル校における今後の取組に活かしている。
- 5 管理職によるプロジェクトチームを立ち上げ、鹿屋市小中一貫教育のあり方についての研究を進めている。
- 6 小中一貫教育リーフレットを配布することで、モデル校の取組や鹿屋市としての小中一貫教育の方向性等について啓発することができた。

### （4）今後の取組予定

- 1 中学校区におけるNRT学力検査の分析結果の活用
- 2 9か年を見据えた教育課程・年間指導計画・教科系統表の見直し
- 3 学びの連続性を重視した計画的・体系的な授業や異学年交流活動の企画と実施
- 4 小中一貫した学習指導・学業指導・生活指導等の共通実践事項の実践と評価
- 5 地域の教育力や特性を活かした教育計画の見直し
- 6 小中一貫教育の質の向上のための研修（講演会や研修視察等）
- 7 鹿屋市小中一貫教育ガイドブックの作成
- 8 モデル校及びプロジェクトチームによる学校教育実践発表会等での研究成果の発表及び還元
- 9 鹿屋市小中一貫教育ステップ5をもとに、全小中学校での実施に向けた段階的な取組推進

## 事業成果報告書

### [取組Ⅱ] 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ-4

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 東串良町教育委員会

住所	鹿児島県肝属郡東串良町川西 1543番地
代表者職・氏名	東串良町教育委員会教育長・天神康男

2. 取組の名称 : 東串良町小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

子供の発達や学習者の意欲・能力等に応じた柔軟かつ効果的な教育システムの構築に向け、小中一貫教育推進事業を通じて、子供の成長に応じた小・中学校間の円滑な接続のための取組を推進する。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成28年度）

4月	
5月	
6月	ア 小中一貫教育推進会議の開催（町小中一貫教育担当者及び委嘱した地域人材等による地域教育会議の開催，平成28年度の取組計画についての確認・協議）
7月	ウ 小中一貫教育カリキュラム研究会での小中一貫カリキュラムの検討（主に算数・数学科，外国語科について町が委嘱した委員等で検討） エカ 第1回3校合同避難訓練の実施
8月	ア 小中一貫教育推進会議の開催（町小中一貫教育担当者会議における平成28・29年度の年間計画・推進体制の確認，取組状況に対する評価方法の確認・検討） アエ 小中一貫教育実践発表会の開催（小中一貫教育の推進に係る町内小中教職員及び保護者，地域住民等の参加による発表会の開催） アエ 県小中一貫教育フォーラムへの出席（薩摩川内市会場：先進的な取組に対する研修機会の設定） ウ 小中一貫教育カリキュラム研究会での小中一貫カリキュラムの検討（主に算数・数学科，外国語科について町が委嘱した委員等で検討） ウ 先進地視察（文部科学省及び東京都三鷹市教育委員会訪問による小中一貫カリキュラム作成及び小中一貫校の取組等に対する研修機会の設定） カ 児童生徒間の相互交流活動の推進（ルーピン少年の主張発表大会の開催） カ 児童生徒間の相互交流活動の推進（小6児童の中学校部活動体験） カ 児童生徒間の相互交流活動の推進（小中合同地域ボランティア活動）

9月	<p>イ 町校長研修会における小中一貫教育の推進に係る平成29年度教育課程全体計画の確認・検討</p> <p>エ 小中一貫協議会及び相互授業参観の開催（柏原小会場：町内小中全教職員による合同職員研修会の実施，小中一貫教育の推進に係る講演会の開催）</p> <p>エ 算数・数学科担当者合同授業研究会の開催（県授業サポート推進校訪問時における合同研修会の開催）</p>
10月	<p>ウ 小中一貫教育全国サミットへの参加（東京都武蔵村山市会場）</p> <p>オ 小中教職員による相互乗り入れ授業の実施（東串良中学校会場：小・中学校教員による両小学校6年生を対象にした体育科TT授業の実施）</p> <p>カ 児童生徒間の相互交流活動の推進（小学校運動会における中学生参加・役員としての協力）</p>
11月	<p>エカ 第2回3校合同避難訓練の実施</p> <p>オ 小中教職員による相互乗り入れ授業の実施（池之原小学校・柏原小学校会場：小・中学校教員による両小学校6年生を対象にした外国語活動TT授業の実施）</p> <p>カ 児童生徒間の相互交流活動の推進（東串良中学校会場：第2回3校合同避難訓練後の小学6年生～中学3年生を対象とする防災講演会の実施）</p> <p>カ 2小合同芸術鑑賞会の実施</p>
12月	<p>ア 小中一貫教育推進会議の開催（町小中一貫教育担当研究会における平成28・29年度の年間計画・推進体制の確認，取組状況に対する評価）</p> <p>ウ 小中一貫教育カリキュラム研究会での小中一貫カリキュラムの検討（主に算数・数学科，外国語科について町が委嘱した委員等で検討）</p> <p>カ 児童生徒間の相互交流活動の推進（小中合同英語活動スピーチ大会の実施）</p> <p>カ 児童生徒間の相互交流活動の推進（小中合同地域ボランティア活動）</p>
1月	<p>イ 町校長研修会における小中一貫教育の推進に係る平成29年度教育課程全体計画の確認・検討</p> <p>ウ 小中一貫教育カリキュラム研究会での小中一貫カリキュラムの策定（主に算数・数学科，外国語科について町が委嘱した委員等で検討）</p> <p>エ 小中一貫協議会及び相互授業参観の開催（池之原小会場：町内小中全教職員による合同職員研修会の実施，小中一貫カリキュラムの確認）</p> <p>エ 算数・数学科担当者合同授業研究会の開催（県授業サポート推進校訪問時における合同研修会の開催）</p> <p>キ キャリア教育推進計画の作成に向けた郷土人材の派遣（3校で一斉に行う郷土検定実施時における郷土人材（学校応援団）の派遣）</p>
2月	<p>ア 小中一貫教育推進会議の開催（町小中一貫教育担当者及び委嘱した地域人材等による地域教育会議の開催，平成28年度の取組状況についての評価，平成29年度年間計画・推進体制及び教育課程全体計画等の確認・検討，キャリア教育推進計画の検討）</p> <p>オ 小中教職員による相互乗り入れ授業の実施（池之原小学校・柏原小学校会場：小・中学校教員による両小学校6年生を対象にした外国語活動TT授業の実施）</p>
3月	<p>ア 平成29年度小中一貫教育の推進に向けた体制整備（町管理職研修会及び学校応援団報告会における次年度計画の確認）</p>

### (3) 取組の成果

<p>ア 小中一貫教育の推進に向けた体制整備 教務主任及び職員研修係、各学校区コミュニティ協議会長、各校PTA会長、町主任児童委員等を小中一貫教育推進委員に委嘱し、地域教育会議を年2回開催したことで、管理職中心で進められていた教育課程全体計画の策定や体制整備が、学校職員や保護者、地域等での検討につながってきた。また、年3回の小中一貫協議会に各教科等部会を新設置したことで、小中一貫教育についての校種を超えた理解が進むとともに、各教科部会による合同研修の機会が増えた。さらに、施設分離型小中一貫校の推進に向けて、ICT環境の整備や学習支援員の配置、バス予算の確保等について町議会等で質問がなされるなど、町長部局や町議会と今後の方向性や可能性を話し合う機会が増えた。(平成39年度までの年次計画を作成し、町当局等と連携した計画的かつ具体的な小中一貫教育の推進に努めた。)</p> <p>イ 小中一貫教育の推進に係る教育課程全体計画の策定 義務教育9年間で目指す児童生徒の姿の実現に向けて、教育課程全体計画の整理・統合及び設定を教務主任研修会等を中心に進めている。検討の過程で、学校教育目標や重点目標、研修テーマを揃えることに加えて、各校教育課程冊子における共通頁の挿入など、積極的な検討を進められた。</p> <p>ウ 小中一貫カリキュラムの作成 小中9年間の系統性や連続性を重視した小中一貫カリキュラムの作成に取り組んでいる。2年次となる本年度は、課題が顕著な算数・数学科及び次期学習指導要領実施を見据えた外国語科等について各校の教頭や研修係等で組織する小中一貫教育カリキュラム研究会で研究を進めた。具体的には、算数・数学科において、「下学年等での既習事項」や「上学年等での学習事項」を明記した指導計画の作成を進めたり、外国語活動と英語科を接続する「表現の系統表」作成したりした。(本年度の鹿児島学習定着度調査数学科の正答率等において、改善の様相が現れた。)</p> <p>エ 小中教職員による合同職員研修会の実施 町内全教職員参加の小中一貫協議会及び相互授業参観を開催するとともに、指導力向上を図る合同研修会を計画・実施した。</p> <p>オ 小中教職員による相互乗り入れ授業の実施 平成24年度から継続して本年度も(理科、外国語、音楽、体育等を中心に)実施している。特に、県小中一貫加配が配置がなされた理科については免許所有者が2小1中4学級の授業を担当(兼務)するなど、小学校高学年における一部教科担任制につながる取組がなされた。</p> <p>カ 児童生徒間の相互交流活動の推進(地域生徒会等) 6年生を対象とした部活動体験や地域生徒会活動、防災講演会に加えて音楽会や英語活動大会、芸術鑑賞会等を2小1中合同で開催し幅広い児童生徒交流を進めている。</p>
---

### (4) 今後の取組予定

<p><b>【平成29年度】</b></p> <p>ア 小中一貫教育推進協議会(地域教育会議)の開催、取組状況評価の結果を踏まえた体制や実施計画の見直し</p> <p>ウ 主に外国語科、道徳等についての作成・検討</p> <p>エ 小中教職員による合同職員研修会の実施(小中一貫教育推進発表会の開催等)</p> <p>オ 小中教職員による相互乗り入れ授業の実施(理科・英語科における学校間兼務、小学6年生の中学校登校日の設定)</p> <p>カ 児童生徒間の相互交流活動の推進(部活動体験、地域生徒会活動、夏季小中合同キャンプ等)</p> <p>キ 小中9カ年におけるキャリア教育推進計画の検討</p>
---

## 事業成果報告書

### [取組Ⅱ] 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ-5

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 南種子町教育委員会

	〒891-3792
住所	： 鹿児島県熊毛郡南種子町 中之上2793-1
代表者職・氏名	： 教育長 遠藤 修

2. 取組の名称 : 南種子町小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

「ふるさと南種子町を誇りに思い、自己実現を図る児童生徒の育成をめざす」

- 1 南種子町いじめ防止対策委員会の開催（中1ギャップへの対応も含む）
- 2 基礎的基本的な内容の定着を図るための各学校におけるR-PDCAサイクルの充実
- 3 小中連携・小小連携の充実
- 4 学校応援団の充実
- 5 各学校における広報活動の充実

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成27年度）

6月	集合学習打合せ会（小小連携）、交流学习打合せ会（小中連携） 集合学習の実施（1年～4年）、交流学习の実施（5年～6年、乗り入れ授業）
7月	第1回小中一貫教育推進委員会&部会 ・集合学習、交流学习等の在り方について ・南種子町すこやかプログラムの作成について（構成的グループエンカウンター等）
8月	
9月	
10月	集合学習打合せ会（小小連携）
11月	交流学习打合せ会（小中連携） 集合学習の実施（1年～4年）、交流学习の実施（5年～6年、乗り入れ授業）
12月	第2回小中一貫教育推進部会 ・基礎学習習慣系統表、家庭学習習慣系統表の見直し ・平成29年度の教育課程について
1月	
2月	集合学習打合せ会（小小連携）、交流学习打合せ会（小中連携） 集合学習の実施（1・2年…2/14, 3・4年…2/15） 交流学习の実施（5・6年…2/16, 乗り入れ授業）

(3) 取組の成果

- 基本的学習習慣や家庭学習習慣の系統表を各学校における検証をもとに改善した。
- 中学校英語教諭による小学校への乗り入れ授業により小中連携が促進された。
- 南種子町すこやかプログラムの作成し、集合学習を効果的に行うことができた。
- 各小中学校においてホームページとブログが定期的に更新された。

(4) 今後の取組予定

- ・学校応援団の機能化が図られ、どの学校においても活用されやすい体制が整えられる。
- ・JAXAとの連携を図り、各校における特色ある教育活動として移動宇宙教室を計画し、児童の主体的な学習活動が展開される。
- ・児童生徒の実態を把握し、算数科・数学科における関数領域において9年間を見通したカリキュラムを作成し、学力の向上を図る。

## 事業成果報告書

### [取組Ⅱ] 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ－6

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 奄美市教育委員会

住所 : 〒894-0026  
奄美市名瀬港町13番1号  
代表者職・氏名 : 教育長・要田 憲雄

2. 取組の名称 : 奄美市小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

- モデル校における小中一貫教育に係る研修の充実
- 9年間を見通したカリキュラムの研究（総合的な学習の時間）
- 相互乗り入れ授業の実施
- 推進協議会の開催
- 先進地視察、小中一貫教育全国サミット等で学んだことを生かした取組の推進

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成28年度）

4月	平成28年度奄美市小中一貫教育推進事業の周知（管理職研修会）
5月	
6月	モデル校における研究推進に係る指導主事訪問
7月	小中一貫教育の管理職向けの資料配付
8月	小中一貫教育フォーラムへの教員の派遣 （東城小中学校から2名，指導主事1名参加）
9月	モデル校における研究推進に係る指導主事訪問
10月	小中一貫教育全国サミットin武蔵村山への教員等の派遣 （東城小中学校から2名，指導主事1名参加） 学習発表会に向けた合同練習
11月	モデル校における小中合同研究授業研修（指導主事派遣） 小学校5・6年算数の授業に中学校数学科教諭がゲストティーチャーで参加
12月	奄美市教育ビジョンアンケートの実施 （※ 奄美市教育ビジョンアンケートとは，小学6年生と中学3年生を対象に学習面，生活面，自分のことについて等についてのアンケート）
1月	奄美市教育ビジョンアンケートの分析

2月	県教育庁義務教育課東城小中学校視察訪問 「あまみっ子」ジョイントプランの実施状況調査 (※「あまみっ子」ジョイントプランとは、保・幼・小・中の連携のことであり、小学校区での幼稚園(保育所)との交流、中学校区での小学校との交流や授業研究を通じた研修等がある。)
3月	次年度小中一貫教育推進計画策定 出前授業の実施(中学校教諭による6年生の授業)

(3) 取組の成果

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県小中一貫教育フォーラムへの派遣による研修</li> <li>○ 小中一貫教育全国サミットin武蔵村山への派遣による研修</li> <li>○ モデル校における小中相互乗り入れの試み</li> <li>○ 小中を貫く学習カリキュラムについての研究</li> </ul>
---

(4) 今後の取組予定

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小中を貫く学習カリキュラム(創意や総合的な学習の時間等)の作成</li> <li>○ 小中一貫教育の推進のための研修(講演会や研修視察)</li> <li>○ モデル校の研究公開による還元</li> <li>○ 小中一貫教育に関する啓発資料の作成・配付</li> </ul>
--